

Next Leaders Challenge

～なりたいを叶えるブランド～

札幌学院大学 人文学部 英語英米文学科 2年 植野未来



Target:

- 人目を気にして着たい服を自由に着れないと感じている人
- 年齢層：高校生から大学生



～私のブランドの強み～

- 自分らしさを大事に
- SDG s を意識している

(1. 貧困をなくそう 5. ジェンダー平等を実現しよう)

- ・ 国連UNHCR協会に寄付
- ・ 買いやすい値段に

支援するには

ご寄付でできること

それぞれの支援例をクリックしていただくと、援助物資の特徴や、現地でどのように活用されているかをご覧いただけます
(1米ドル=106円換算) * 毎月ご寄付は1年続けた場合

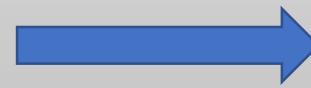
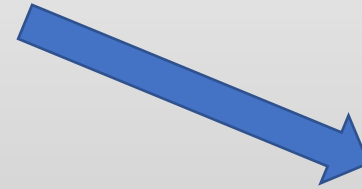
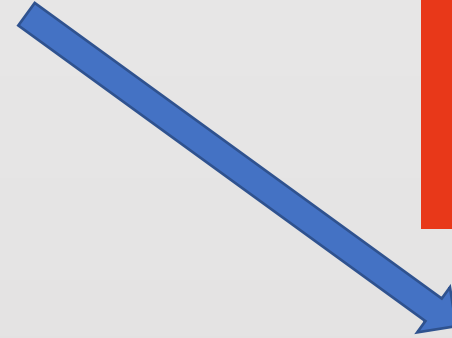
国連UNHCR協会への寄付は視覚障の対象です。 [詳細はこちら](#)

| | |
|---|---|
| <p>1日100円 (毎月3,000円)</p>  <p>遅くとも 学校卒業が受けられる 教科書49人分</p> | <p>1日100円 (毎月3,000円)</p>  <p>避難生活に 欠かせない防水用の ビニールシート 23枚</p> |
| <p>1日150円 (毎月4,500円)</p>  <p>自然環境が 厳しい中で必要不可欠な 保温性の高い毛 布78枚分</p> | <p>1日150円 (毎月4,500円)</p>  <p>避難中でも、烹調と 温かい食事にとれる 調理器具セット 30家族分</p> |
| <p>1日333円 (毎月10,000円)</p>  <p>暑さや寒さ、 雨風から家族を守る テント2張</p> | <p>1日500円 (毎月15,000円)</p>  <p>安全な水を 供給できる小規模な 浄水システム4 台</p> |

1 貧困をなくそう



- ・ なりたいを叶える
- ・ 性別や障害の有無に関係なく、
自分好みの服を選べるように





なぜ興味を持ったのか？

- 自由を目の当たりに
- アメリカでしたい事の一つだった
- 日本と比べることが出来るように



My plan:

他ブランドのチェック、ブランド・ファッションを学ぶ、
ジェンダー平等・貧困問題の現状を知る

ブランドを築いている・考えている人との交流、ブランド
立ち上げメンバーの確保

ブランド全般知識（お金・経営・IT）などの専門的な知識

資金調達

商品（服・タグ）の作成、SNSやHPの作成、商品
の作成

ブランド立ち上げ

—
～やるべきこと～

1人で… デザインや服の研究、
「ジェンダー平等」・「貧困問題」を知る

他の人の力を必要とする…HPの
作成などIT関連の知識、経営の専門的な知識



<メンバー募集>

- 「ジェンダー平等」・「貧困問題の解消」を叶えたい人
- デザインやものづくりに興味がある人
- ファッションに興味がある人



▽ **Instagram** : @kimchi_pee



▽ **Twitter** : @kimchi_hp9